

平成30年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	佐賀市立東与賀中学校		
2 所在地	佐賀市東与賀町大字下古賀1127番地1		
3 校長名	川内野 彰夫		
4 学級数 児童生徒数	9学級 267人	5 実施学年 児童生徒数	1年 87人

6 取組のねらい

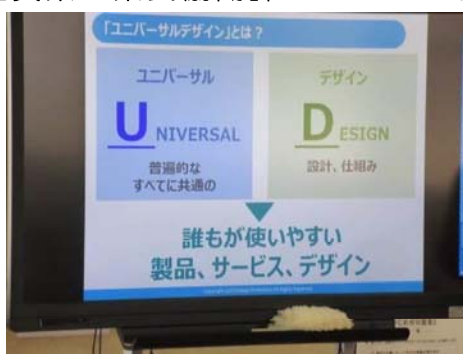
UD（ユニバーサルデザイン）についての学習を通して、多様な個性や違いについて知り、他者を尊重する心を育む。また、UDのアイデアを考える取り組みを通して、自分たちの住むまちや暮らしについて見直し、身近にある不自由さや不便さに気づくとともに、誰もが過ごしやすい社会の実現について考えさせる。

7 取組の実際（写真等を入れ具体的な様子がわかるようにすること）

総合的な学習の時間にユニバーサルデザインについての学習を行った。

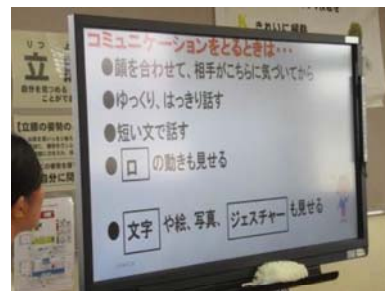
（1）UDについての講義

（佐賀県 県民協働課 ユニバーサル社会推進担当の方より）



（2）聴覚障がいのある方への理解

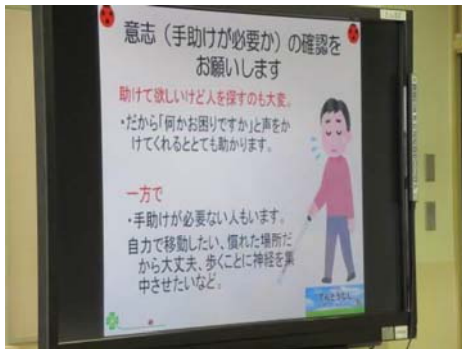
言語聴覚士の方に来ていただき、耳の聞こえの仕組みについての説明や、音が聞こえない体験の実施、聴覚障がいに関する情報保障の方法の紹介などをしていただいた。



(3) 視覚障がいのある方への理解

盲学校に通っている生徒の保護者の方に来ていただき、盲学校に通うお子さんの生活について、視覚障がいのある方が困っている時の対応の仕方、家族の思いなどを学んだ。

また、歩行訓練士・視覚障がい生活訓練等指導員の方を講師として、見え方の仕組みについての講義や、視覚障がいの方をサポートするUDの紹介などをしていただいた。



(4) 生徒の感想

・UD講座で目の不自由な人、耳の不自由な人のことについて聞き、何も不自由がない人と比べると少しできないことが多くあるけど、少し工夫をすれば同じように暮らすことができることがわかりました。

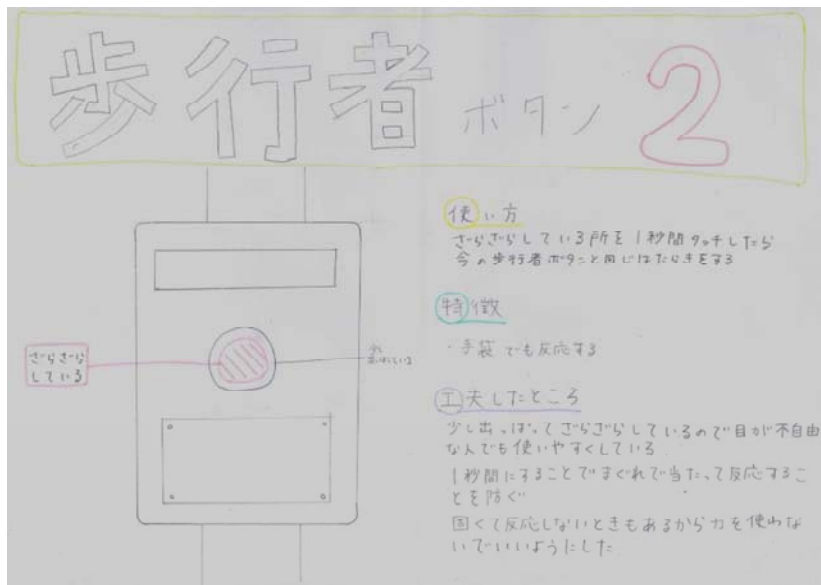
・お話を聞いて、障がい者の人々も、工夫しながら生活していることがわかりました。なので、私たちも、どんな人々にとっても生活しやすい環境をつくるのが大切なんだなと思いました。

(5) UDのアイデアを考える活動

UD (主に視覚・聴覚) についての学習のあと、UD作品の発案に取り組んだ。一人一案を目標に、日常にあるUDやこれまでの佐賀県UDコンテストの入賞作品などを参考に、自分たちの暮らしの中に役立つUDを考えました。

[生徒の作品]





8 取組の成果と課題

今回の取り組みを通して、ユニバーサルデザインが、障がいの有無や年齢・性別等に関わらず、すべての人が安心して過ごせるためにあるということ、生徒一人一人が理解をすることができた。また、UD学習を通して、障がいをもつ方々の不自由さや抱えている思いなども知ることができ、相手を尊重し思いやる心を育む機会にもなった。生徒たちは自分たちのUDを考える中で、自分自身の住むまちや暮らしについて振り返ることができ、よりよい社会になるためにはどうしたらいいのかを真剣に考えることができた。

今回の取り組みをここで終わらせるだけでなく、他の教科等の学習とも関連させながら、UDについて継続的に考えていく活動を続けていきたい。